



小樽支部 支部長  
秦 健一郎

新年明けましておめでとうございます。北海道行政書士会の皆様には日頃よりご厚情を賜り厚く御礼を申し上げます。

昨年は国際的な政情不安や慢性化した円安傾向など、あまり明るい話題は多くありませんでした。新型コロナウィルスもしぶとく我々の生活を蝕み、今や生活環境に常駐する存在と化しました。

支部事業に目を転じますと、令和4年は研修・無料相談ともほぼ計画どおりででしたが、研修の最終回のみ有志による懇親会を試みましたが、まだ早いという声もきかれますが、何よりも生の会員同士の生のコミュニケーションが絶たれて久しく、やむにやまれぬ苦渋の決断でした。ワクチン接種を条件として開催した結果やはり試みてよかったと思えました。幸いにも感染者は出ませんでした。当たり前なことを当たり前に行うことの幸福感を改めてかみしめました。

監察活動では3年連続で市町村に対してポスターを直接配布できておりません。

これも残念なことではありますが、何となくこの流れでは郵送が定着してしまうことを懸念しております。市町村との関係を円滑に維持するためにも訪問は続けたかったのですが、広報監察活動のあり方も見直さざるを得なくなっております。

ウィズ-コロナの名のもと、わが国も経済との両立に舵を切り始め、着実にその一步を踏み出した一年でした。当支部もできることは確実に、新年はさらに支部会員の皆様のお役に立てるよう、支部役員一同努力してゆく所存です。会員皆様のますますのご健康とご多幸を祈念いたしまして、新しき年のご挨拶とさせていただきます。



釧路支部 支部長代行  
今村 誠

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は当支部へのご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。また、昨年5月27日には第63回本会定時総会が釧路の地において開催され、たくさんの方々にご来釧いただきましたこと重ねて御礼申し上げます。総会が無事終了の運びとなりましたことは、開催地の支部として、支部役員一同安堵したところでございます。

さて、昨年の支部活動におきましては、新型コロナウイルスの感染状況を窺いつつ感染防止対策に努めることにより、支部総会や研修会等の行事を全て対面で行うことができました。会員同士の話しが弾んでいるのを見るにつけ、やはり「顔を合わせる」ということは、コミュニケーションの原点ともいうべきことなのだと感じた次第です。

今年は春頃に支部のホームページをリニューアルする予定です。情報発信をこれまで以上に行い、行政書士および釧路支部の認知度を上げ、業務獲得につなげられれば幸いです。

私は昨年7月より支部長の任を代行しておりますが、滞りなく支部活動を行うことができているのも、ひとえに支部会員並びに支部役員の方のお蔭であり、感謝申し上げます。5月には役員等の改選が予定されております。任期満了まで粛々と任務を遂行し、新体制での年度を迎えたいと存じます。

末筆ではございますが、本年も皆さまの益々のご健勝を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。